

「市町村のPR大使としては本町のみですが、他にも牛肉やお米、砂糖などさまざまなPR大使をされていますね。それぞれの役割をこなすのは大変ではないですか？」
「大使として、いろいろな場所に出向いてPRする機会が増えるので、白糠町をPRするためにも、もっと忙しくなりたいです」

「昨年10月には、体験企画として「ちょっと暮らし住宅」を利用していただきましたが、実際に住んでみてどうでしたか？」

「住宅には生活に必要なものが全て揃っているし、費用も安いので制度としては最高だと思います。町がしっかりバックアップしているので安心してできました。ただ、私は自動車免許を持っていないので、移動手段がないのがちょっと困るかなと思いました」

「ここで少し、大食いのお話を聞かせてください。大食いになった理由はなんですか？」

「子どもの頃から『食べ物を残してはいけない』という親の教えを忠実に守り続けていたら、大食いになっていました。それでも子どもの頃はラーメンは4杯しか食べられなかったんですよ(笑)」

「普段はどんな食事をしているのですか？」

「家ではおかゆを食べているのですが、お米5合に2リットルの水でおかゆを作ります。その1升のおかゆに卵を4個入れるのが普通です。まともにお米を食べるとお金がかかってしまうので、おかゆにしています。夜は食べ放題(バイキング形式)のお店で食べるのですが、曜日によって行くお店を決めています。実は食べ過ぎて、出入り禁止になってしまったお店も何軒あります」

「これまで、アンジェラさんは町内のイベントでのPR活動のほか、札幌でのイベントでは1日店長を務めたり、白糠のヤナギダコやエゾシカを使ったおむすびをプロデュースし、全国に向けて情報発信をしてきました。」

「札幌の『おむすびきゆうさん』

のライスボールプレーヤー・川原さんと一緒に「北海道179市町村のコラボおむすび」第1弾として「白糠町究極の柳だこむす」をプロデュースし、これが大好評でした。それに続く白糠町の第2弾として「白糠鹿肉のおむすび」を作りました。これもぜひ皆さんに食べていただきたいです」

「来年は4年目となりますが、白糠町食と食材PR大使として活動するに当たり、なにかやってみたいことはありますか？」

「やりたいことはいっぱいあります！ユーチューブで動画配信をしているので、白糠の食材をもっと動画でも配信していきたいです。白糠食材を使った新しいメニューなども提案できたら良いですね。」

「それと、これは飲食店さんにお願いなのですが・・・全国に紹介できる5キロ以上のデカ盛りメニューを作っていたいただきたいです。前日予約や裏メニューとしてもかまわないので、通常メニューに紹介できれば、私も動画などで紹介できるので、ぜひぜひお願いします！あとは、テレビ番組で共演する方たちにお渡ししたいので、新千歳空港で白糠町のお土産が買えるようになるとうれしいです」

「では、最後に町の皆さんへのメッセージをお願いします。」

「私は白糠が大好きですが、まだ『白糠マニア』に過ぎないレベルです。なので、ぜひ皆さんの力で立派な町民に育てていただきたいです。私の知らない白糠町の魅力をたくさん教えていただいて、白糠町民として認めてもらえるよう頑張り

ますので、どうぞよろしくお願います！」

インタビュをした当日は、ウレシパチセで、もともと興味を持っていたというアイヌ伝統料理をアイヌの皆さんに習い、実際に食べてみるという体験取材を行っていただきました。10品目の料理の半分以上をひとりでペロリと平らげたアンジェラさんは「とってもヒンナ(おいしい)でした」と満足した表情を見せていました。

今回の取材の様子を撮影した動画が、近日中にアンジェラ佐藤さんの公式ユーチューブチャンネルで公開されるということですので、ぜひご覧ください。

